

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 金沢市立泉野小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒921-8117
石川県金沢市緑が丘4-64

E-mail izumino-e@kanazawa-city.ed.jp.

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp./izumino-e/

児童生徒数 男子 293名 女子 267名 合計 560名
児童・生徒の年齢 6歳 ～ 12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1年 おおきくなあれ わたしのはな

5月、2年生に教えてもらいながら、一人一人の植木鉢にあさがおの種まきをした。毎日の水やりや肥料やり、支柱立てなどのお世話をしながら、観察カードにその様子を記録していった。秋に新しい種取りをした後は、カードをまとめて一冊の本に仕上げた。その中にシートで押さえた実物の花も残した。このような活動を通し、児童はあさがおの成長の様子に気付いたり、生命の神秘を感じたりした。残ったあさがおの蔓もリースにし、あさがおの生命を最後まで大切にしようという心こめて活動に取り組んだ。できた種の一部を封筒に入れ、お手紙をつけて、来年度の一年生にプレゼントすることを子どもたちは楽しみにしている。

2年 もっとなかよしまちたんけん

自慢したいと思う地域の店や働く人について、もっと知りたいなという思いから、調べ活動を行った。自慢したい店11カ所に、クラスの枠をはずしてグループを作り、保護者の方にも引率のお手伝いをして頂き探検に出かけた。探検に行く前に、知りたいこと・教えて欲しいことを考えたため、全員がインタビューをすることができた。インタビューをして疑問に答えて頂くことで、店の様子や働く人の仕事や苦勞、地域の人々に喜ばれるための工夫などについて詳しく学ぶことができた。

「町探検をして学んだことをまとめて、家の人に紹介しよう!」を単元のゴールにしていたので、各グループでまとめ方・発表方法を意欲的に考えて活動していた。大型新聞・劇・ペーパーサートなど様々な方法でまとめ、クイズを取り入れて、聞く人も一緒に考えて楽しんで発表を聞くことができるようにする工夫が見られた。

この学習を通して、地域の人々と触れ合い地域とのつながりを感じたり、他クラスの児童と学び合ったり、保護者の方々に成長した姿を見て頂いたりと有意義だったと思う。

3年 金沢新発見 ～和菓子学ぶ～

社会科「はたらく人とわたしたちの暮らし」で和菓子工場を見学し、こだわりの原料を用い職人さんが技と工夫を凝らしておいしい和菓子を作っていることを学んだ。

その学習と関連させながら、学校周辺にある和菓子屋(6店)へ出かけ、和菓子の種類や原料、作り方の工夫やお店の人の思い・願い、季節との関わりについてインタビューした。和菓子工場と比べたことによって、地域に根ざした和菓子屋の良さや身近なお客のために努力している職人さんの思いを知ることができた。さらに、国語科の「話す・聞く」領域の学習を生かして、和菓子について学んだことを保護者や他グループの友達に発表した。”分かりやすく発表しよう”とめあてを設定したことで、相手意識をもちグループで協力し合い分かりやすく伝えたり、自分が調べたことと比べて聞いたりすることができた。

他教科での学びを生かした見学や発表などの活動をすることで、個々の力を高めることにつながった。

4年 発見・金沢の伝統 ～偉人から学ぶ～

金沢の良さや自分の可能性に気づくことができるきっかけとして身近な偉人について学習を展開した。本校の卒業生である木村栄の業績や生き方を共通課題として取り上げ、調べ学習に取り組んだ。調べたことを交流する中で、金沢の他の偉人についても知りたいという思いをもつようになった。そこで、自分の関心がある分野の偉人について、図書館やインターネットで調べたことをさらに深めるために「ふるさと偉人館」へ出かけ、資料を見たり学芸員さんに直接質問したりした。学習したことを偉人新聞にまとめ、全校に紹介した。偉人調べを通して、児童はあきらめずに最後まで努力することの大切さを学び、たくさんの偉人がいる金沢の素晴らしさと自分の将来に対する希望を感じることができた。

5年 金沢の自然と食文化

金沢の食文化に欠かせない米や加賀野菜、金沢の自然環境を知ることができる犀川を素材として扱い学習を進めた。「米について調べよう」では、住宅街で田が少ないという校区の特徴から、バケツで稲を育てた。これにより米への興味が高まり、その後の調べ学習に意欲的に

取り組んでいた。「犀川の自然環境をさぐる」では、県民環境講座からゲストティーチャーを招き、犀川で水生昆虫採集を行った。活動を通して、子どもたちは、水生昆虫が自然環境を整える役割を果たしていることに気づき「これからも犀川を大切にしよう」という思いを抱くことができた。

「金沢の食文化」では加賀野菜とそのレシピについて調べた。調べたレシピの中から一つ選び、実際に作ってみることでよさを味わい、金沢の食文化についての理解を深めることができた。

6年 金沢の歴史や文化を学ぼう

伝統文化が息づく町並みや伝統行事、文化について年間を通して学習してきた。「伝統芸能について調べよう」では金沢能楽美術館を見学し、館長さんから加賀宝生についてお話をして頂いたり、面をつけたり、太鼓をたたいて拍子をとったりと歴史ある金沢の文化に親しむことができた。

また、「いってみまっし金沢」では「金沢の魅力を分かりやすく伝えよう」を目的に自分たちで行き先や経路、連絡をとるなどして主体的に計画を立てて体験・見学へといくことができた。調べたことや学んだ成果は国語科『パンフレットを作ろう』や社会科との関連を図り、パンフレットやパソコンを使ったプレゼンテーションで表現することができた。プレゼンテーションを使った金沢の紹介を授業で保護者に見ていただき、めあてを達成することができた。

その他の取組

運営委員会が中心となって、ユニセフ募金やワクチンの贈呈を目的に全校に呼びかけ、毎月3～4回プルタブやペットボトルキャップの回収に継続的に取り組んでいる。特にペットボトルキャップは、野田中校区の4校で同じ取り組みをしており、4校で集約し、一緒に業者へ納入するなど、交流しながらお互いに高め合うことができている。その他、資源回収や、整美委員会によるゴミ分別を行っている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）